

「国際交流の夕べ」を開催しました

医歯薬事務部学務課
国際課

平成 25 年 12 月 18 日、エルボ（蔵本キャンパス・青藍会館 2 階）にて、大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 (HBS)、疾患酵素学研究センター、疾患プロテオゲノム研究センター主催による「国際交流の夕べ」を開催しました。



苛原 HBS 研究部長（左）と
司会のアグスティンさん（中）、
リタさん（右）

このたびは、蔵本地区留学生と日本人学生、教職員合わせて、13 か国約 90 人が参加し交流を深めました。この「国際交流の夕べ」は、母国を遠く離れて徳島で暮らす留学生の皆さんに、留学生同志、また日本人学生や教職員と大いに交流し、楽しい思い出を母国に持ち帰っていただきたいとの思いで毎年年末に開催しており、今回は記念すべき 10 回目の開催となりました。



書道を披露する大西さん



モンゴルの紹介をするダワドルジさん

交流会は、スペインからの留学生、アグスティン・マーティン・モラレスさんとペルーからの留学生、リタ・カンポス・オリフェラさんの司会で進められ、苛原稔 HBS 研究部長／医学部長による開会のご挨拶と乾杯のご発声で始まりました。交流会では、マンダフナラン・ダワドルジさん

（疾患プロテオゲノム研究センター・生命システム形成分野）によるプレゼンテーション「モンゴル紹介」に続いて、大西律子さん（栄養生命科学教育部分子栄養学分野）の書道、長尾紀子さん（大学病院栄養部栄養管理士）による生け花、福本和代さん（歯学部総務係）による着物の着付けが披露され、参加者から最大な拍手が送られました。



生け花を披露する長尾さん（右）と
留学生のアネタ・ブラジエルさん

終わりに、カルビ・ブカサ先生（教育支援センター）による閉会のご挨拶があり、万歳三唱

で交流会は締めくくられました。



着物着付けを披露する福本さん
（右）とモデルのヴィディヤスリ・
ブラナニングラムさん



集合写真